

教 育 改 善 提 案 書

所属学科名 (または所属課又は団体名) 看護学科

応募者氏名(代表者氏名) 三井弘子

1. 提案名	レジリエントな人になろう
2. 趣旨・理由を含めた提案内容の概要	医療系大学において、困難な状況からの回復力(レジリエンス)をもつ学生を育成することは、困難な状況にある対象者の身になって考えたり、高度化する医療技術・社会の変化に対応できる質の高い医療人を育成する上で重要である。4年間の在学期間を通して、「回復力」の高い学生を育成することが、休学・退学者の減少につながる。また、学問だけでなくそうした自己の成長を感じられる大学生活を送ることによって、愛校心が高まり、今後の大学の発展につながる。
3. 提案の具体的な内容	在学期間を通じての取り組みを行う。心理教育プログラムの実施時期、内容は学科ごとに適切な時期に行う。 1. 入学時 ・調査の実施:レジリエンス要因尺度、自己効力感尺度、抑うつ性尺度 ・心理教育プログラムの実施(後述) 2. 年度初め ・調査の実施:レジリエンス要因尺度、自己効力感尺度、抑うつ性尺度 ・希望者等に対して、心理教育プログラムの実施(学科ごとに実施時期を変更する、例えば看護学科なら3年生後期の領域別実習前が効果的と思われる) 3. 卒業時 ・在校生との交流会(4年間の学びや自己の成長を語る) 心理教育プログラム 1) 以下の内容の講義をおこなう(知識レベル) レジリエンス、自尊感情、自己効力感、感情のコントロール、良好な人間関係 2) ワークを行う(行動レベル) 個人の心理的負担に応じて、個人又はグループワークを行う
4. 期待できる効果	・休学・退学者の減少 ・愛校心の向上 ・教育の質の向上(やる気のある学生が増えると、教員の士気も上がる)